

Rotary



R. I. 第2620地区 静岡第グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第228号

事務所 静岡県三島市泉町9-8
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 平出 利之 幹事 赤池 克斗



広重版画より 三島 朝霧

第2358回例会

2023.7.13曇

司 会

遠藤眞道君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 前田房江君

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 和田由貴美さん

(関本(文)・木村・前田(房)・仲田君のゲスト)

会長挨拶

会長 平出利之君

今週の月曜日にプラザホテルで、ウクライナ支援ザ・ウエストサイズによる「諏訪部敏之メモリアルチャリティーコンサート」が開催されました。「ウクライナに平和が戻り、皆さんが早く戻れますように、お祈りいたします。」という諏訪部さんのメッセージから再度のコンサートの開催のようであります。このコンサートには、韮山高校後輩のバイオリニスト牧野さんの友情出演もあり、世界をまたにかけているバイオリンを聞けて、感動しました。そして、諏訪部さんをしのぶコンサートでもあり、諏訪部さんの息子さんも会場においでになりました。息子さんのお礼の挨拶がありましたが、彼の言葉の中で「いつも自分は会社の社長として父親と接していましたが、今日は息子としてコンサートを聞かせていただきました。」という言葉が印象的でした。それから、司会は千葉さんが担当していましたが、曲を紹介する時に諏訪部さんのエピソードを挟んで紹介されており、大変良かったと思いました。あつという間の素晴らしいコンサートでした。ウエストサイズの皆さんの活躍に感謝申し上げます。

また、今日はクラブ協議会ですので、担当の委員長さん方宜しくお願い致します。

出席報告

	出席総数	出席率	メ ア ッ ク プ	修 出 席 正 率
前々回	43/53	81.13%	45/53	84.91%
今回	37/45	82.22%	会員総数	52名

欠席者 秋元君、秋山君、芦川君、川名君、野田君、町野君、矢野君、横溝君

幹事報告

幹事 赤池克斗君

①本日はクラブ協議会です。各委員長、委員の方よろしくお願ひします。

次回例会は7月27日(木)12:30 決算報告、米山ガバナー補佐公式訪問です。

②今年度はガバナー月信の配布がありません。各自地区ホームページで確認してください。

③古着deワクチンの協力のお願ひ(7月27日、8月3日平出宅駐車場)

④テーブル会の補助金は一人1000円です。

2023~2024年度
国際ロータリー会長
ゴードンR.マッキナリー

世界に希望を生み出そう

クラブ協議会

SAA

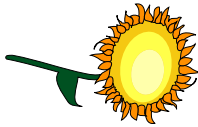
小塚英樹君

<基本方針>

気品と風紀を守り、秩序正しく例会が運営され、且つ、親睦が深められるような設営をする。

<活動方針>

- 1.感染症対策を意識した例会運営を目指す。
- 2.定刻開始、時間内終了、卓話時間の確保の順守をする。
- 3.発言者、発信者に敬意を払い、また、当クラブ来訪のお客様を歓迎し、良い雰囲気づくりをする。
- 4.年4回の席替えを行い、さまざまな会員同士の親睦を図れるようにする。
- 5.SAA委員、1～2名を最後席に配置し、会場監督、管理する。



会員増強維持委員会

委員長 木村安紀夫君

基本方針

コロナ禍や世界経済の急変を乗り越え、今年はウイズコロナに転換して経済や観光も少し持ち直してきておりますが、ウクライナ、台湾有事、北朝鮮のミサイル問題などまだ予断を許さない状況にあります。この時こそ奉仕活動を実践し社会貢献をする事が必要であります。当クラブは親睦を基調とし、会員相互の協力によりクラブの維持拡大に努めてまいります。経験豊富な先輩会員から、多くの情報をいただき、若手会員の行動力と新しい発想を生かし力を発揮できるよう委員会を運営してまいります。

活動計画

- (1)前年同様、3名の会員純増を目指します
- (2)新規女性会員最低1名獲得致します
- (3)年最低6回委員会を開催、活動計画を見直し、情報交換を図り、新規会員獲得に向けて積極的な委員会活動を行います
- (4)他委員会と協力、ロータリーの活動内容を広く知らしめ入会情報に繋げて行きます

クラブ広報委員会

委員長 町野 暉君

<基本方針>

三島西ロータリークラブの活動を、会員に周知頂ける様に尽力する。

<活動計画>

- 1.週報掲載資料を速やかに事務局へ提出し、円滑な発行をする。
- 2.地域メディア等と連携・活用し、三島西ロータリーの活動を多くの人に認知してもらう。
- 3.ソーシャルメディアを活用し、多方面へつながる活動をする。

クラブ管理運営委員会

委員長 矢野敏夫君

<基本方針>

- 1.年間プログラムの作成:クラブ方針に基づき、会長及び幹事とも協議し、卓話などのプログラムを作成する。
- 2.出席率の向上を目指す:参考となる情報を発信する。

<活動計画>

- 1.クラブ方針に基づき、卓話などのプログラムを作成する。
- 2.なるべく多くの会員に卓話の機会をつくるため、近年の卓話実績を参考として卓話者を選ぶ。新会員、過去5年間卓話をしていない会員を優先して選ぶ。初めての卓話は自己紹介にしてもらう。
- 3.卓話者には事前の確認を連絡する。
- 4.卓話日程の変更は、1ヶ月前までに委員会に報告することをお願いする。
- 5.年間出席率100%の会員に記念品の贈呈。
- 6.その他必要に応じ、クラブの効果的な運営を行う。

親睦活動委員会

委員長 栗原達治君

1.基本方針

それぞれの会員及び会員家族の親睦の充実をはかり、SAAと連携の元、楽しいクラブ作りに努める。(コロナ禍でできなかった行事の復活)

2.活動内容

- ①明るい例会受付、挨拶と、テーブルメンバー表示の徹底
- ②親睦家族例会もしくは旅行の実施
- ③夜間親睦例会の実施(年3回程度アルコール飲料の提供)
- ④忘年家族例会の実施
- ⑤家族参加のサヨナラ例会の実施
- ⑥テーブル会は、年4回実施する

ロータリー情報委員会 委員長 西本和夫君

〈基本方針〉

- 1.RIや地区からのロータリー情報ははじめロータリアンとして必要と思われる情報を収集し会員に伝達する。
- 2.新会員にロータリーを十分理解していただくために、ロータリーの目的、定款、クラブ細則などの規則、ロータリー活動についての説明や支援を行う。

〈活動計画〉

- 1.新会員の勉強会、懇親会を会長・幹事・推薦者と共に開催し、ロータリーを理解していただく為の資料等を準備し提供する。
- 2.地区大会、地区の研修会等に参加し情報収集に努める。
- 3.クラブフォーラムなどでロータリーに関する情報を卓話にて会員に提供しロータリーへの理解を深めていただく。

職業・社会奉仕委員会 委員長 秋山恭亮君

〈基本方針〉

- ・会員それぞれの職業を通じ、社員に豊かな環境を提供し、地域社会に貢献する。
- ・奉仕活動に参加し、社会貢献をすることで三島西ロータリークラブの認知度向上に努める。

〈活動計画〉

- ・職業奉仕の理念に基づいた活動
- ・優良事業所、官公庁、現場等の見学
- ・見晴フェスティバルへの参加、協力
- ・過去の職業社会奉仕活動の見直し、情報共有。

国際奉仕委員会 委員長 花房孝光君

基本方針

友好クラブである苗栗RC及び苗栗東南RCとの交流を深める。特に苗栗RCとの中学生交換交流事業に積極的に取り組む。

三島市国際交流協会の活動に参加し、ロータリー活動の啓蒙と国際交流への意識の高揚に努める。

活動計画

- 1.台湾苗栗からの交換中学生の受け入れ
- 2.友好RCの周年式典への参加
- 3.三島市国際交流協会の活動への参加協力
- 4.国際ロータリーの支援活動に協力

ロータリー財団米山委員会 委員長 柴崎恵子君

ロータリー財団

〈基本方針〉

ロータリー財団地区補助金を積極的に活用して地域に貢献し事業を発展させる。

〈活動計画〉

地区目標の達成

年次基金寄付 US\$150/人年

頂いた寄付をRIで3年間プールしその後奉仕活動に使用する。

恒久基金寄付 運用益を地区補助金として運用する。

ベネファクター US\$1000、

各クラブ1名以上

ポリオプラス基金寄付 US\$30/人年

ロータリーカードを積極的に使用する。

米山

〈基本方針〉

米山梅吉翁の「奉仕の精神」を継承し併せて米山梅吉記念館および米山記念奨学会事業に対して会員各位の理解を深めて頂くよう努める。

〈活動計画〉

(公財)米山記念館賛助会費 ¥3000/人年

米山奨学生支援として奨学生の卓話依頼

本年度はベトナム出身チンさんの卓話

米山記念館 春、秋季例祭に参加。

委員会報告

前年度クラブ管理運営委員会

千葉慎二君

2022～23年度修正出席率100%表彰

赤池 克斗君 木村安紀夫君 杉崎 亮慈君

関本 文彦君 南木 一仁君 野田 和秀君

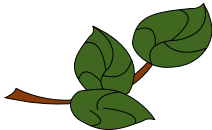
平出 利之君 前田 博利君 三田 明宏君

おめでとう

会員誕生日 室伏君、森藤君、矢岸君
三田君、西川君、渡邊君
入会記念日 梶山君

スマイルボックス

- ◆木村君、諏訪部敏之さんのメモリアルコンサート無事に行うことができました。西ロータリーの方もたくさん聴きに来ていただきありがとうございました。諏訪部さんも喜んでくれたと思います。
- ◆小川君、伊豆フェルメンテの小川です。7月12日の静岡新聞にてサンフロント21懇親会でインタビューを受けました。最初で最後の新聞掲載、緊張しました。
- ◆増強委員会、第1回会員増強維持委員会を行いました。熱のこもった良い討議が出来ました。



委嘱状



米山梅吉記念館 運営委員 柴崎恵子君

ROTARY NEWS

会長メッセージ

ゴードンR.マッキナリー (2023-24年度RI会長)

新たに深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために動き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動にピロギング(帰属意識)とインクルージョンを浸透させています。だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。

今年度はメンタルヘルスを支援するためのプロジェクトを優先的に行っていきます。この取り組みは、個人的にも非常に重要なものです。誰かが声もあげられずに苦しんでいるのを見守るといのがどういことか、私はよく知っています。また、人と人がつながりあうこと力や、こころの健康と幸せについて話しあうことの価値、予防的ケアと治療がひとりの命を救うことをこれまで目の当たりにしてきました。研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして、心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。

ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。障壁を乗り越え、新たなつながりを築くために、ロータリーはたゆまぬ努力を続けています。今年度は、こういった大切なつながりを強化するために、会員間のバーチャルな国際交流を促進します。平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。ロータリーの重点分野全体で私たちが行うありとあらゆる活動が、平和を可能にする希望を育む力をひそめています。

人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮い立たせてくれることでしょう。素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上なく居心地のよい、これ以上なく魅力的なクラブを築きあげましょう。

クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。誰もが自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。ありとあらゆる行動人が「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第です。

今年度、私は多様性、公平さ、インクルージョンの取組に焦点を当て、全人類により良く奉仕するために、ロータリーが奉仕するコミュニティを反映するようにし、人間の持てる才能と経験のすべてを活用するための重要な方策を引きつづき講じていきます。また、女性や女兒が兼ねそなえている可能性を解き放つのを助けることによって、女性や女兒のエンパワメントを続けていきます。

内なる平和を築き、それをどんどん広めていきましょう。帰属意識を育て、ロータリーの未来を新たに思い描きましょう。ともに楽しく力を合わせて、世界に希望を生み出しましょう。

(週報担当:前田博利・酒井文暢)